

## 減価償却 R4 令和 2 年度固定資産税申告書対応版 (Ver.19.10) のリリース

固定資産税の申告書（種類別明細書）の改正対応、および機能アップ等に対応した、減価償却 R4 Ver. 19. 10 のリリースについてご連絡します。

以下の内容は変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

### 1. 発行プログラムと対象バージョン

システム名	リリースバージョン	データ変換対象バージョン	保守加入対象バージョン
減価償却 R4	Ver. 19. 10	Ver. 17. 10以降	Ver. 18. 10以降
減価償却顧問 R4			
減価償却応援 R4			

※ライセンスが変更になります。19.1 用のライセンスが必要です。

※R4 シリーズのアプリケーションを初めてセットアップする際、E i ボードが自動でセットアップされます。

※ネットワーク環境でご利用の場合は、別途 [ネットワーク基本ライセンスサーバー版] および接続端末台数分の [ネットワーク基本ライセンス クライアント版] が必要です。アプリケーションは同時接続数ライセンス仕様となります。

※Ei ボードは Ver. 19. 2 以上が必要です。

#### 連動対象の他の R4 システムについて

Ver. 19. 1 と連動対象となる、他の R4 アプリケーションの条件は次のとおりです。

- ・法人税 R4 : 平成 28 年度版以降 ※平成 28 年度版は Ver. 16. 31 のみが対象
- ・所得税 R4 : 平成 28 年版以降
- ・財務 R4 : Ver. 16. 2 以降

### 2. リリース時期 (予定)

#### 2-1. E i ボードダウンロードマネージャーの公開

2019 年 12 月 12 日 (木)

#### 2-2. マイページのダウンロード公開

2019 年 12 月 12 日 (木)

#### 2-3. オプションの CD 保守契約 CD 送付開始予定日

2019 年 12 月 20 日 (金)

#### 2-4. 減価償却 R4 Ver.19.1 用の電子申告プログラム (Ver.19.1.e1) について

Ver. 19. 1 用の減価償却 R4 電子申告プログラム (Ver. 19. 1. e1) は、電子申告 R4 の本体プログラム (Ver. 19. 15(仮)) のダウンロード公開と同日となります。(2020 年 1 月 6 日公開予定)

- ※ Ver. 19. 1 にデータ変換した会社データは、Ver. 19. 1. e1 公開まで電子申告はできません。ご注意ください。

### 3. 固定資産税申告書の改正対応内容（予定）

#### 3-1. 種類別明細書：取得年月の「令和」年号出力の対応

種類別明細書（増加資産・全資産用／減少資産用）で、明細行の取得年月の「令和」年号出力に対応します。

- ・年号欄に「5」を出力します。
- ・償却資産申告書項目設定（「導入」→「償却資産申告書項目設定」）の印刷パラメータで「年号欄のアルファベット記載」がオンの提出先は、年号欄に「R」を出力します。

#### 3-2. 種類別明細書：事業年度の「令和」出力の対応

種類別明細書（増加資産・全資産用／減少資産用）で、帳票右上の年度の「令和」出力に対応します（償却資産申告書は実現済）。

### 4. 機能アップ等の対応内容（予定）

#### 4-1. 資産変更：償却方法の一括変更の対応

資産一覧画面で複数資産選択時に指定できる一括変更画面に「償却方法」を追加し、複数資産を選択して償却方法を一括変更できるように対応します。

一括変更の対象は次の定額法、定率法に関する償却方法です。

定額法、200%定率法、250%定率法、定率→定額、額→200%率、額→250%率、旧定額法、旧定率法、旧定率→額、旧定額→率

#### 4-2. 固定資産税の計算（償却資産申告書等）：償却開始日の設定の対応

固定資産税の償却開始の判定日付を設定できるように対応します（現動作は事業供用日固定）。次の2つの設定方法を用意します。

##### (1) 会社データ全体の設定

会社基本情報の＜運用方法＞に「固定資産税の取得年月日」の設定項目を追加し、取得年月日／事業供用日から選択できるように対応します。

##### (2) 資産単位の設定

資産画面の＜償却資産設定＞に、固定資産税用の償却開始日の設定項目「取得日（計算用）」を追加します。各資産の固定資産税の償却開始の判定は、「取得日（計算用）」の日付を基準に行います。

→会社基本情報の「固定資産税の取得年月日」の設定に従い、「取得日（計算用）」（および「取得日（出力用）」）に償却開始日が設定されます。

「取得日（計算用）」に設定された日付は、上書きで変更できるように対応します。

#### 4-3. 種類別明細書（増加資産・全資産用）：帳票タイトルの○印字の対応

帳票タイトルの「種類別明細書（全資産・増加資産用）」の「全資産・増加資産用」に、選択した出力形式の方を○で囲む印字に対応します。

#### 4-4. 旧データ変換処理：モバイル持出先での処理実行に対応（ネットワーク版）

旧バージョンデータの変換処理は、他のR4アプリケーション同様、モバイル持ち出し中の旧データをサーバーに返却せずに持ち出し状態で実行できるように対応します。

#### 4-5. 電子申告ファイル出力 : eLTAX のシステム更改に伴う対応

※電子申告用プログラム (Ver. 19.1.e1) の対応予定内容です。  
eLTAX 側のシステム更改 (9/24～) に伴い、以下の対応を行います。

(1) 資産数 2000 件超の出力の対応

出力資産数が 2000 件を超える提出先の場合でも、電子申告ファイルを出力するように対応します。

(2) 利用可能文字の拡充対応

地方税電子申告での利用可能な文字の範囲が e-Tax (国税) と同等に拡大されましたので、それに伴い利用可能文字を拡充します。

以上、よろしくお願いいたします。